

水道の使用に関するアンケート調査報告
(事業所向け)

令和4年3月
豊田市 上下水道局

第1章 アンケート調査概要(事業所向け) P1
1 調査の目的 P2
2 調査方法と回収結果 P2
3 表示方法の留意点 P2
4 調査結果の概要 P2
第2章 アンケート調査報告(単純集計) P3
1 回答者の状況 P4
2 水道水の使用状況 P8
3 水道水の安全性、備蓄状況について P14
4 水道事業について P20
【参考資料】	
アンケート調査票 P24

第1章 アンケート調査の概要 (事業所向け)

【概要】

1 調査の目的

調査目的	事業所向け	本調査は、今後、人口減少社会を迎えることや節水をはじめ、水道水の使用状況などが変化していることも踏まえて、将来にわたって安定して、安全で安心な水道水を事業所の皆様に提供できる水道事業経営のあり方を検討する中で、各事業所における水道水の使用状況などを把握する資料とします。
------	-------	---

2 調査方法と回収結果

調査方法と回収結果	調査対象	・ 豊田市内の事業所(令和3年3月末時点)
	抽出方法	・ 無作為に抽出
	調査方法	・ 調査票を郵送にて配布・回収(インターネットによる回答の回収も実施)
	調査期間	・ 令和3年7月1日～7月30日
	回収結果	・ アンケート発送数:1,800事業所 ・ 回答数:741事業所(紙面:679事業所、web:62事業所) ・ 回収率:41.2%

【概要】

3 表示方法の留意点

表示方法の留意点	<ul style="list-style-type: none">・グラフ中のnは、集計の基となる標本データ数を表しています。・割合を示しているグラフ中の数値は、「回答数」を表しています。・複数回答が可能な質問や、回答者を絞った設問については、標本データ数nとグラフの回答集計総数が一致しないものがあります。・設問や選択肢などの表現は意味が変わらない程度に、一部省略している場合があります。・判読不能の回答等は無回答に含めています。・誤って指定数以上の選択肢を選択していた場合や、本来回答すべきではない設問を回答してしまった場合は、集計に含めずに分析しています。・自由回答については、基本的に回答をそのまま記載していますが、類似した内容については統合して表記しています。
----------	--

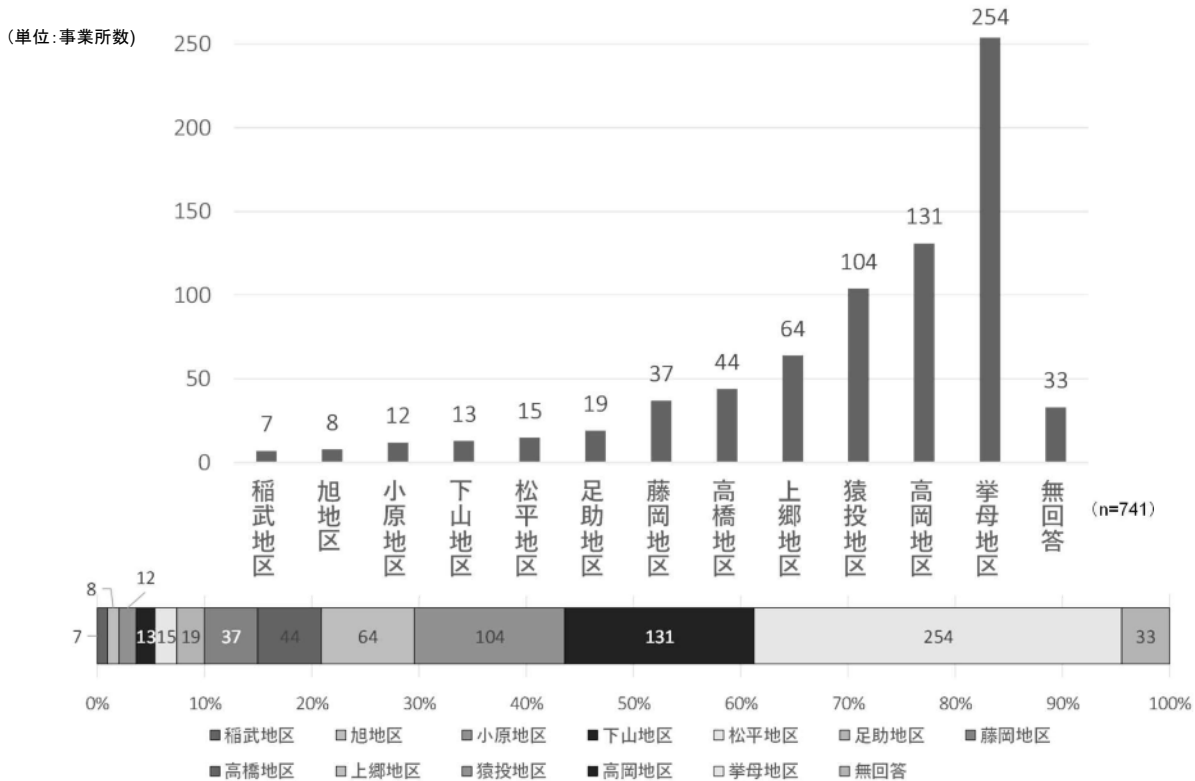
4 調査結果の概要

調査結果の概要	<ul style="list-style-type: none">・ 水道水の安全性に対する信頼は高いが、水道管の状態等への不安を感じる回答者もみられます。・ また、水道インフラの老朽化に伴う対応の必要性はほとんどが肯定的な回答になっているほか、そのための料金値上げについては約6割が肯定的です。・ 使用水量の把握度合い、節水意識は双方共に高いです。
---------	--

第2章 アンケート調査報告 (単純集計)

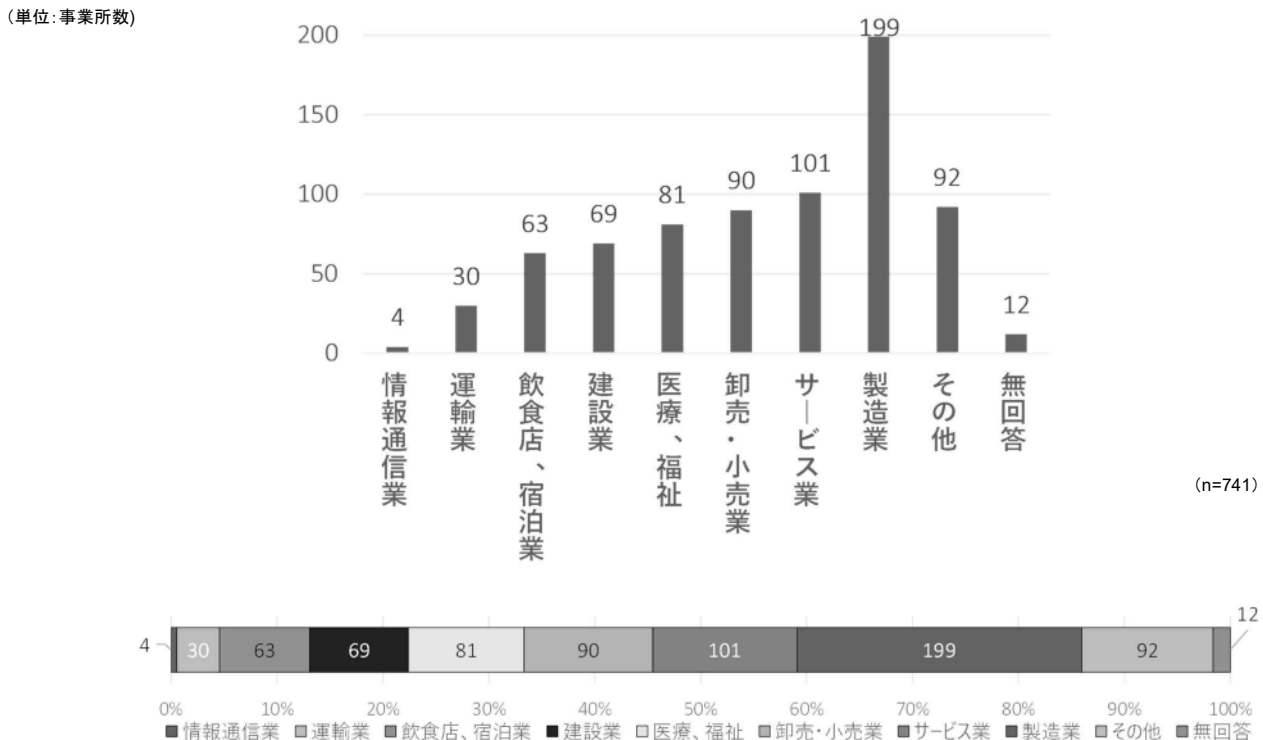
1 回答者の状況

Q1_事業所が所在する地区



地区別回答は「拳母地区」の回答が最も多くなっています。
次いで「高岡地区」、「猿投地区」の順に回答が多くなっています。

Q2_事業所の主たる業種



主たる業種別回答は「製造業」の回答が最も多くなっています。
次いで「サービス業」、「卸売・小売業」の順に回答が多くなっています。

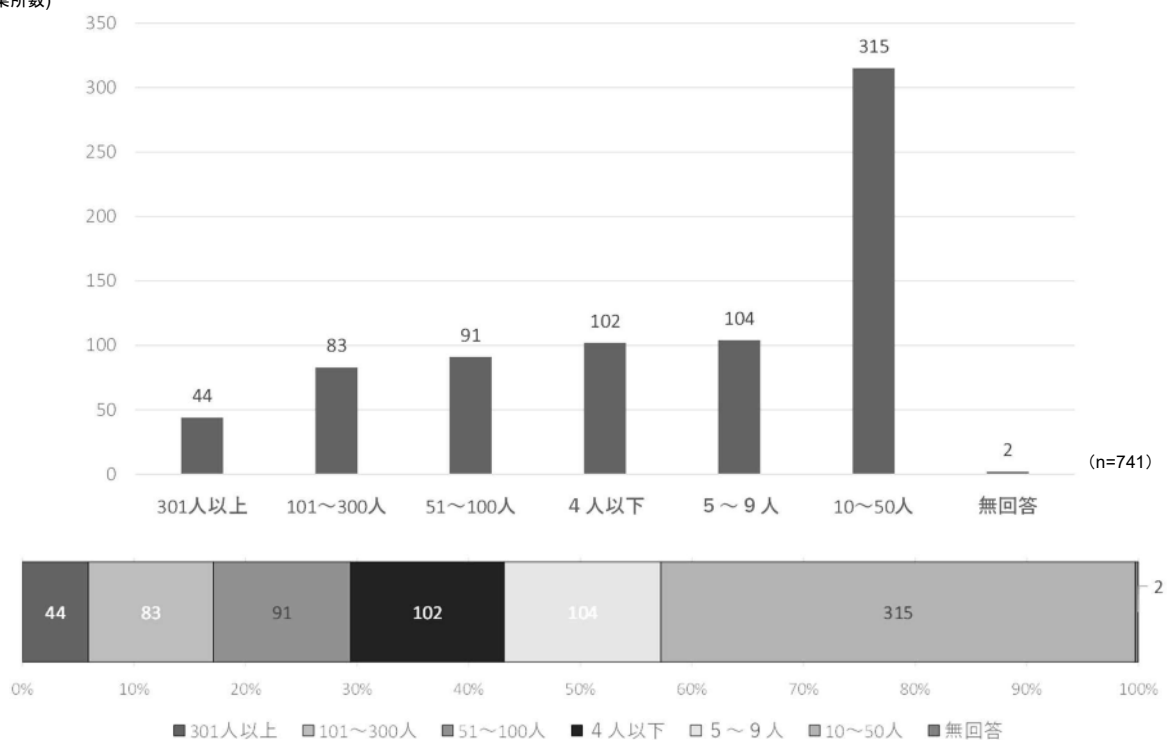
Q2_その他の回答

その他の回答	回答数
不動産関連	2
教育関連	2
スポーツクラブ	1
水産業	1
農業	1

不動産関連の事業所と教育関連の事業所が複数見られました。
また、スポーツクラブ、水産業、農業など、多様な事業所が見られました。

Q3_事業所の従業員数

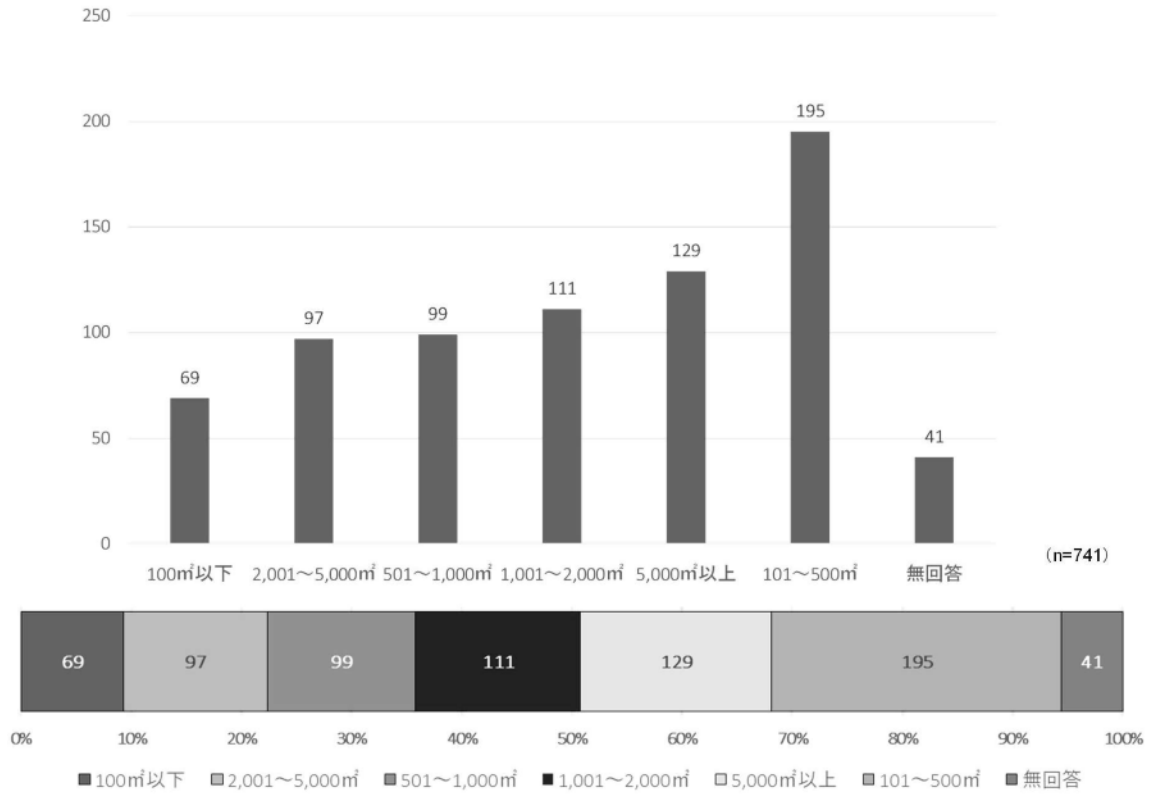
(単位:事業所数)



従業員数別回答は「10~50人」の回答が最も多くなっています。
次いで「5~9人」、「4人以下」の順に回答が多くなっています。

Q4_事業所の延べ床面積

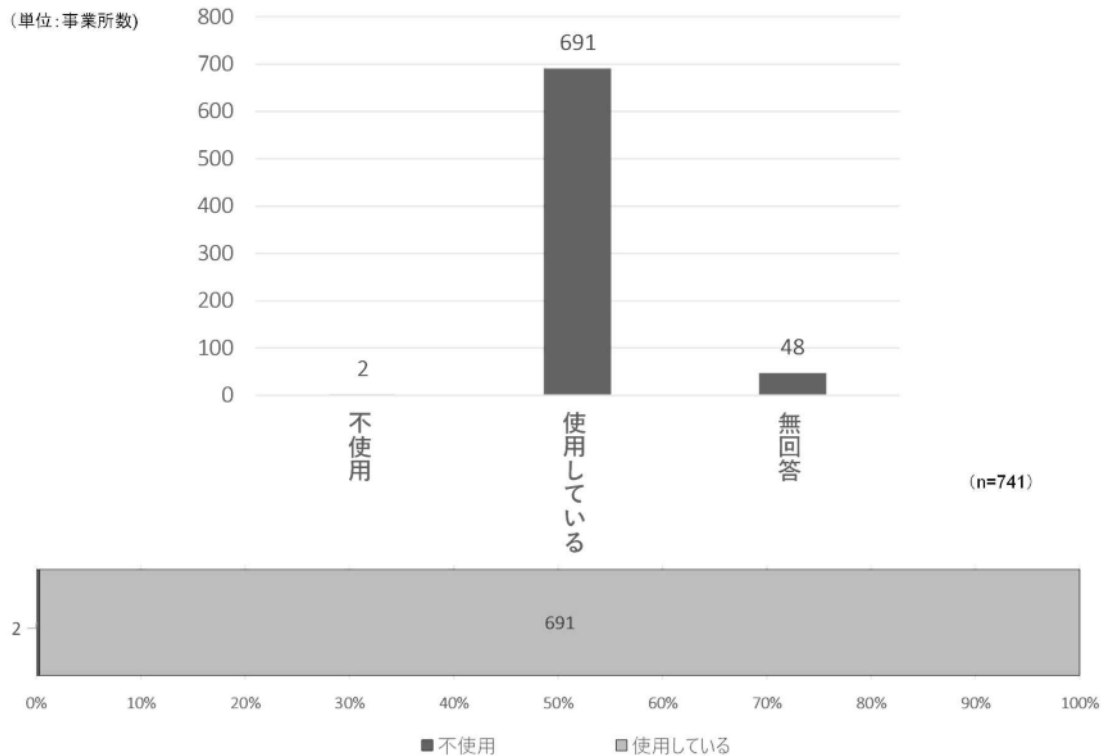
(単位:事業所数)



延べ床面積別回答は「101~500㎡」の回答が最も多くなっています。
次いで「5,000㎡以上」、「1,001~2,000㎡」の順に回答が多くなっています。

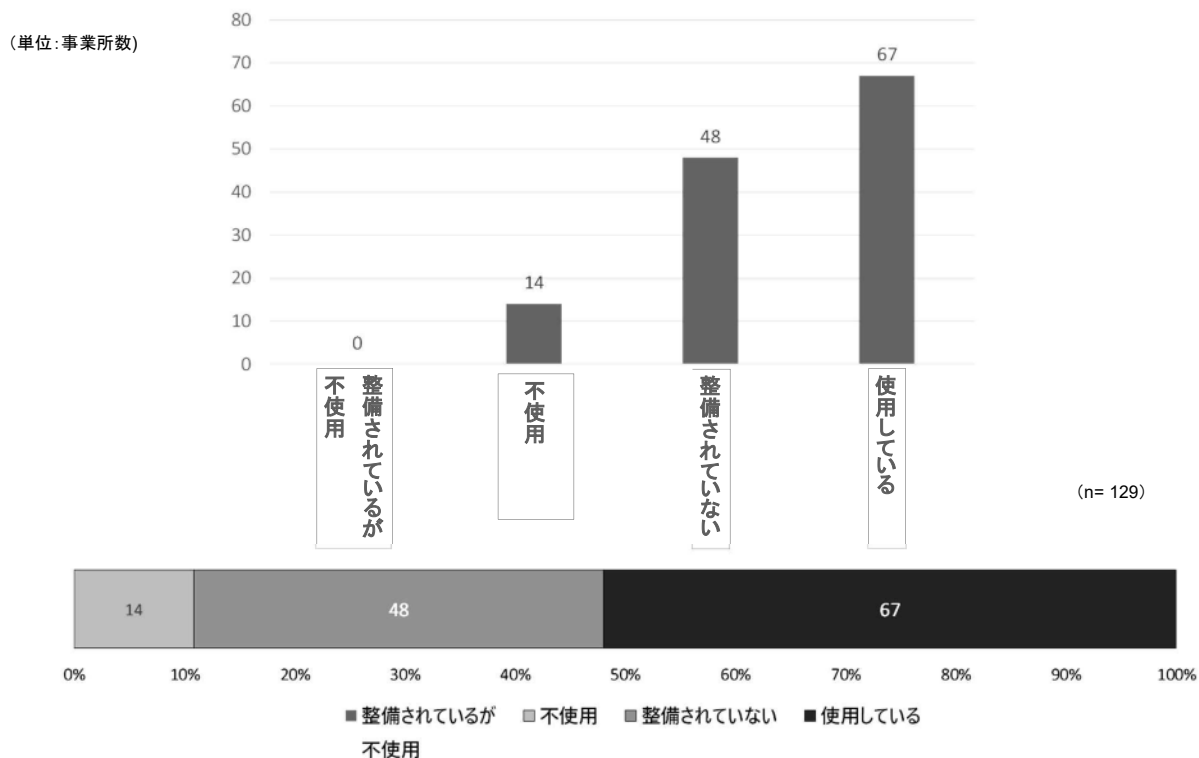
2 水道水の使用状況

Q5-1_水道水の使用状況



水道水の使用状況について「使用している」の回答が多くなっています。「使用している」の割合は全体の90%以上を占めています。

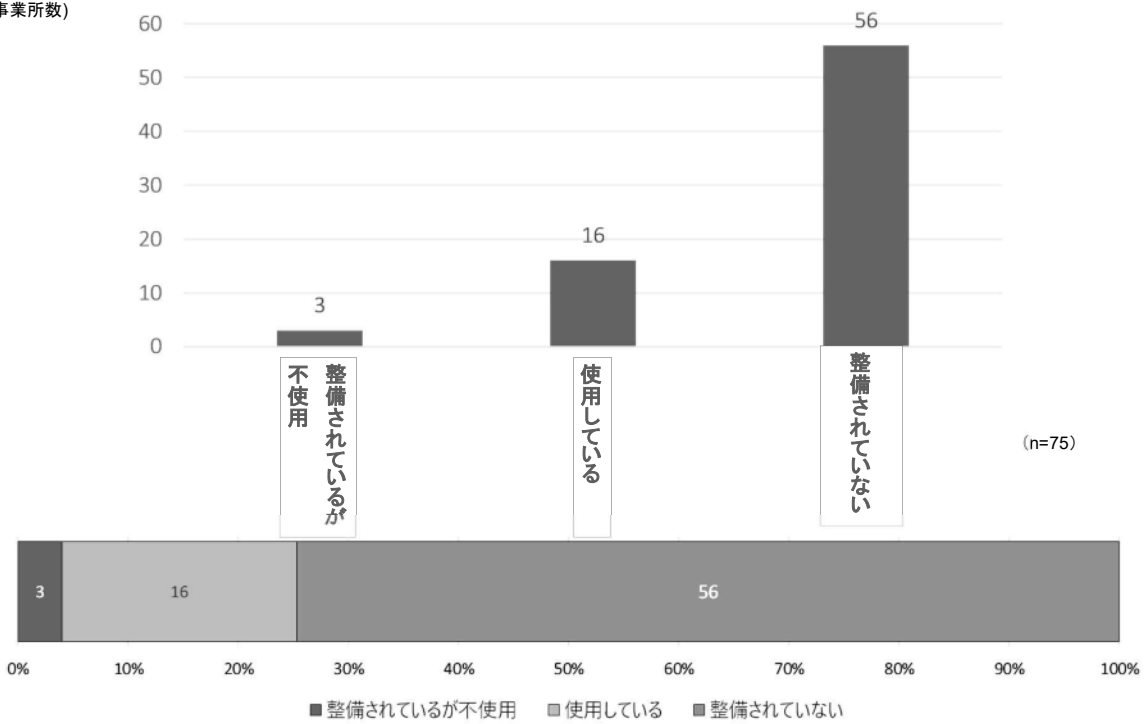
Q5-2_地下水・井戸水の使用状況



地下水・井戸水の使用状況について、「使用している」の回答が最も多くなっています。次いで「整備されていない」、「不利用」の順に回答が多くなっています。

Q5-3_工業用水道の使用状況

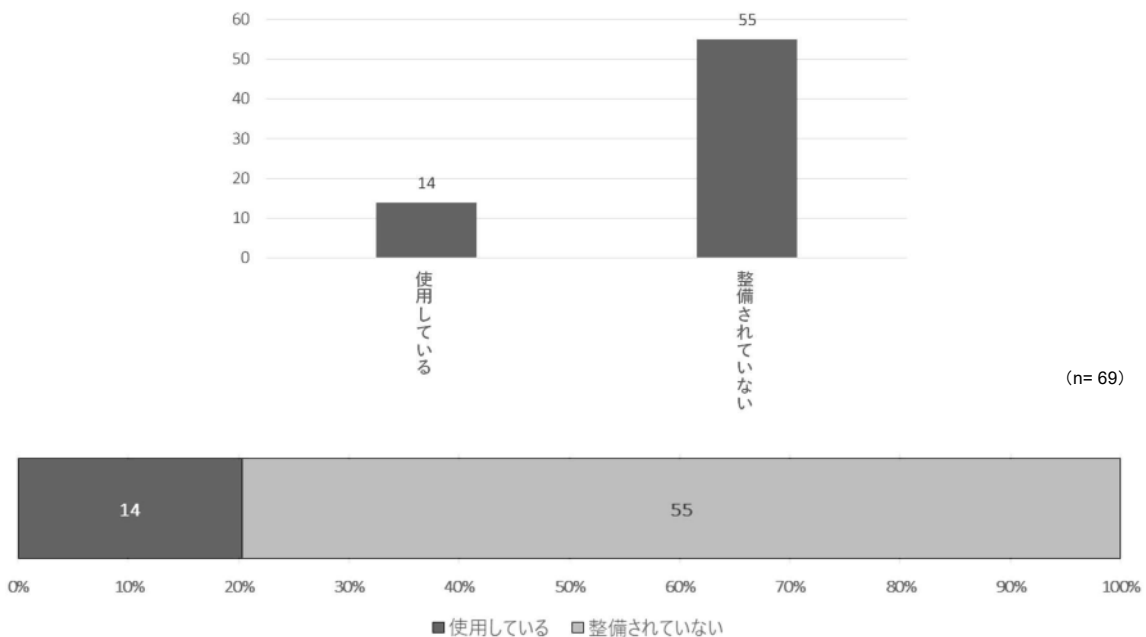
(単位:事業所数)



工業用水道の使用状況について、「整備されていない」の回答が最も多くなっています。次いで「使用している」、「整備されているが不使用」の順に回答が多くなっています。

Q5-4_その他(再利用水等)の使用状況

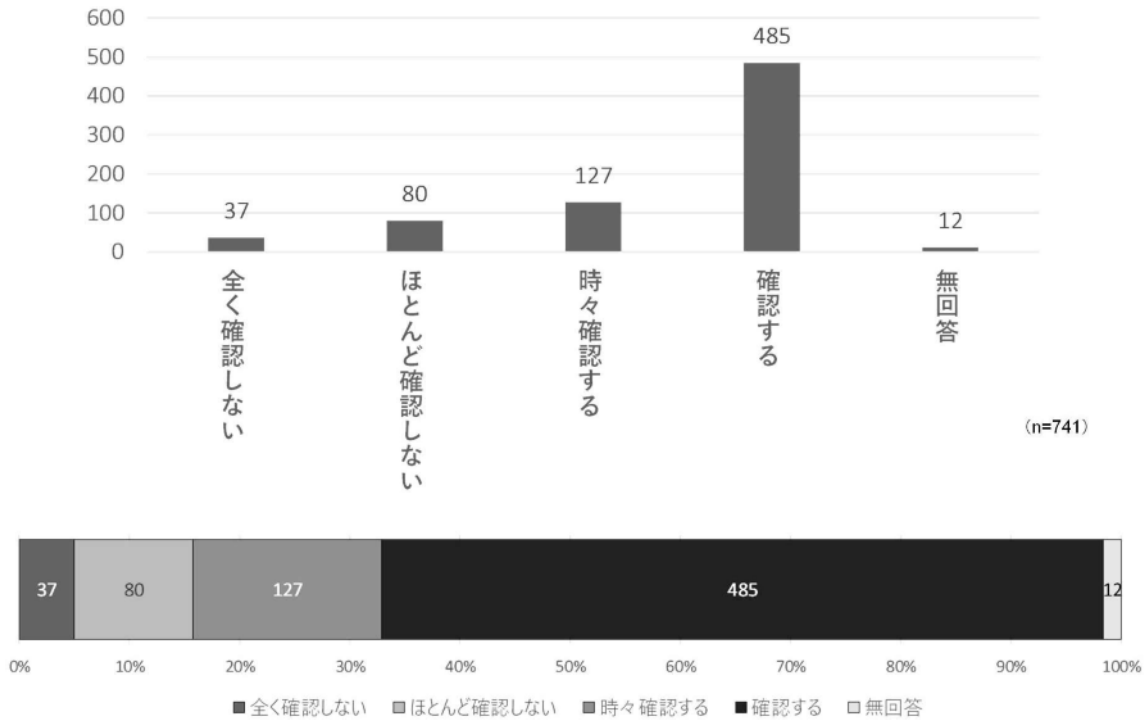
(単位:事業所数)



その他(再利用水等)の使用状況について、「整備されていない」の回答が最も多くなっています。次いで「使用している」の回答が多くなっています。

Q6_「使用水量のお知らせ」を確認しているか

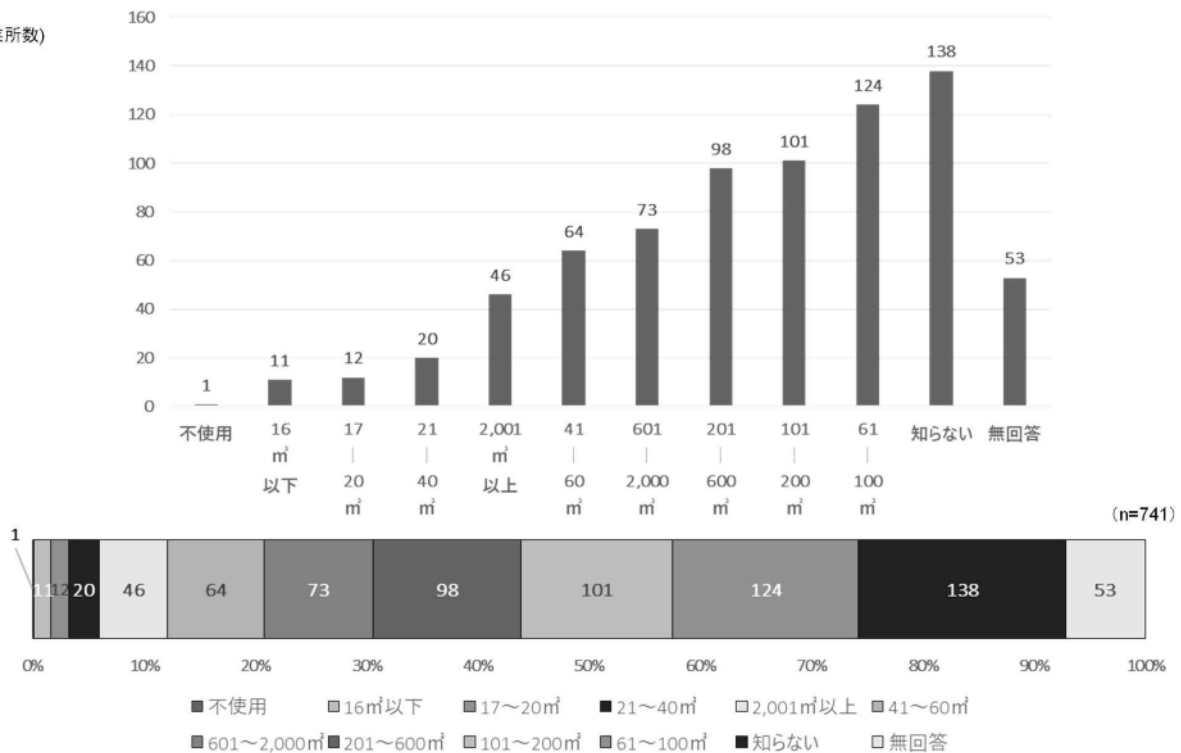
(単位:事業所数)



使用水量の確認について「確認する」の回答が多くなっています。
次いで「時々確認する」、「ほとんど確認しない」の順に回答が多くなっています。

Q7_直近2か月の水道使用水量

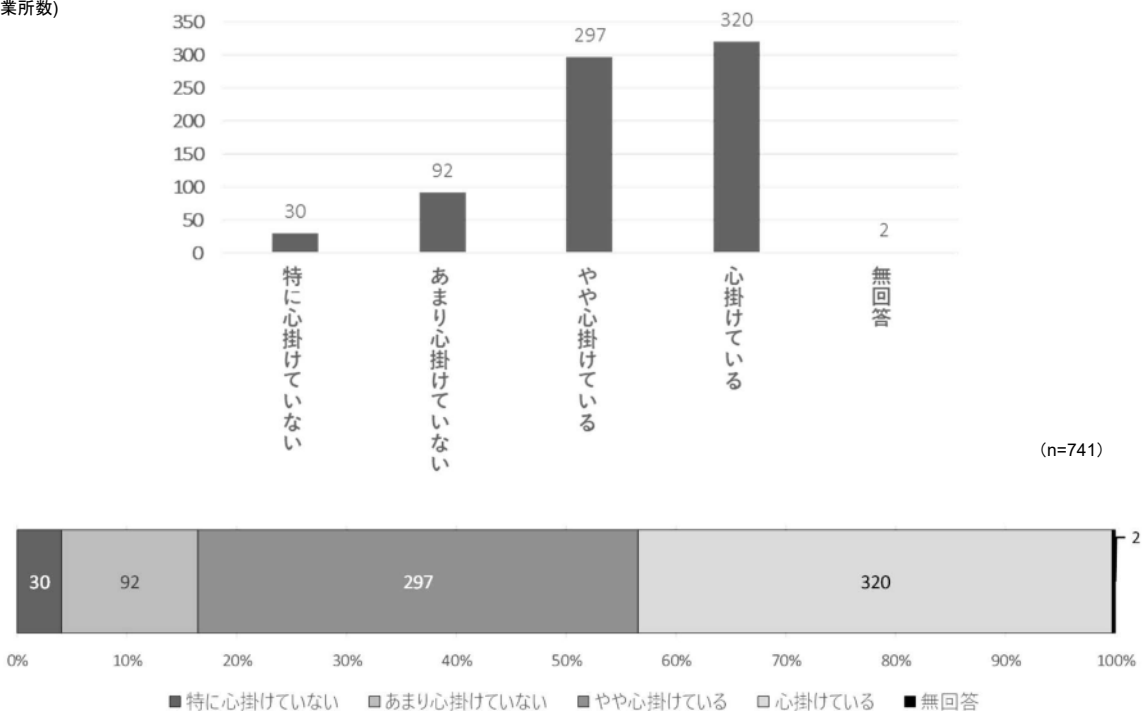
(単位:事業所数)



約7割の事業所が直近2か月の水道使用量を把握しています。また、水量別では「知らない」と回答した事業所が多くなっています。次いで「61~100m³」、「101~200m³」の順に回答が多くなっています。

Q8_普段、節水を心掛けているか

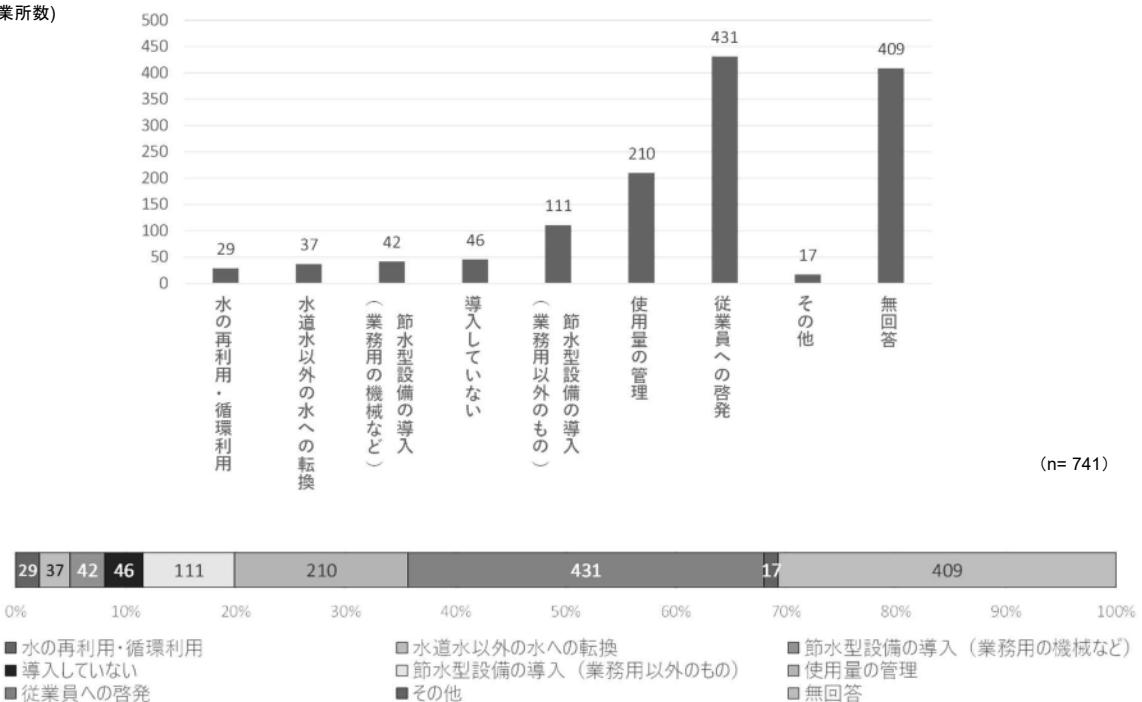
(単位:事業所数)



節水への心掛けについて「心掛けている」の回答が多くなっています。次いで「やや心掛けている」、「あまり心掛けていない」の順に回答が多くなっています。

Q9_具体的な節水方法(複数回答可)

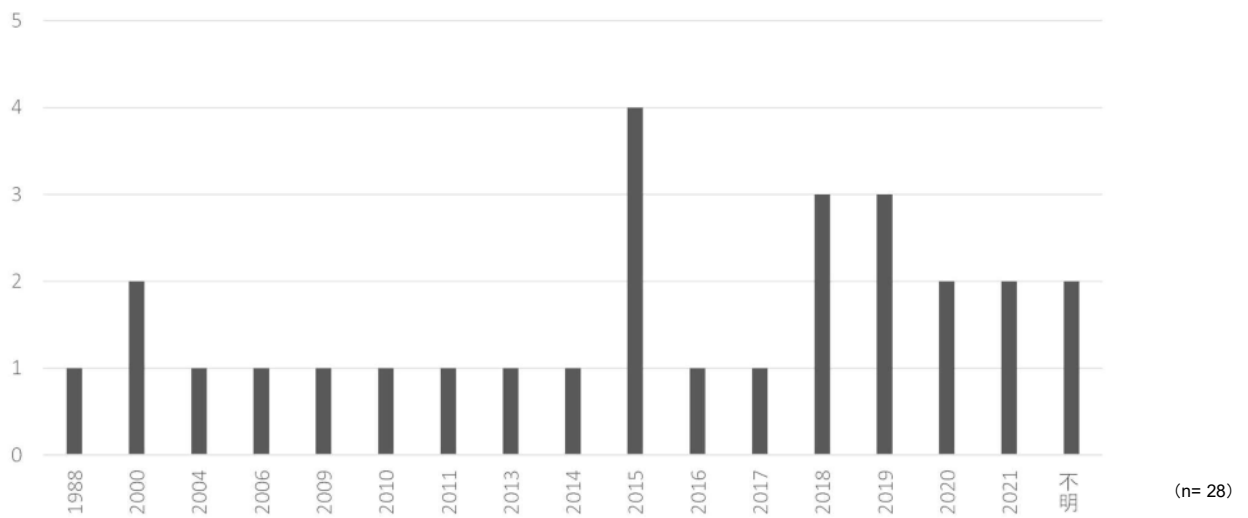
(単位:事業所数)



具体的な節水方法について「従業員への啓発」の回答が多くなっています。次いで、無回答を除き、「使用量の管理」、「節水型設備の導入」の順に回答が多くなっています。

Q10_過去10年間で、節水型設備の導入などに取り組まれた時期を教えてください

(単位:事業所数)

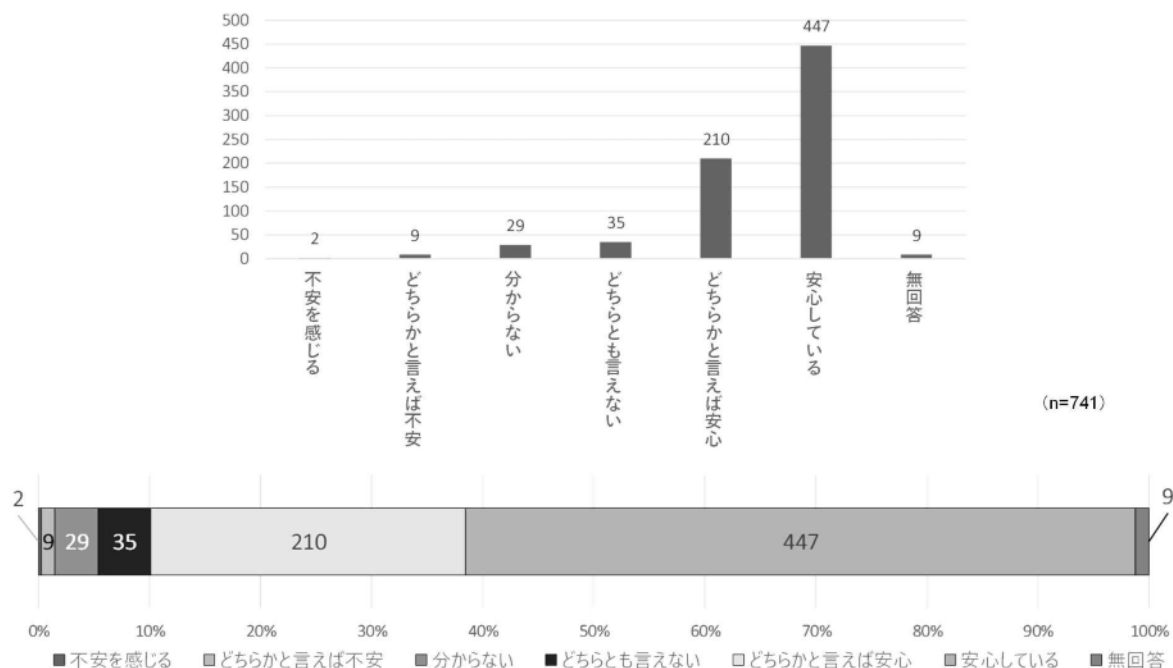


2015年に節水型設備を導入した事業所が最も多かったことがわかります。次いで、2018年と2019年に節水型設備を導入した事業所が多く見られます。

3 水道水の安全性、備蓄状況について

Q11_豊田市の水道水の安全性について

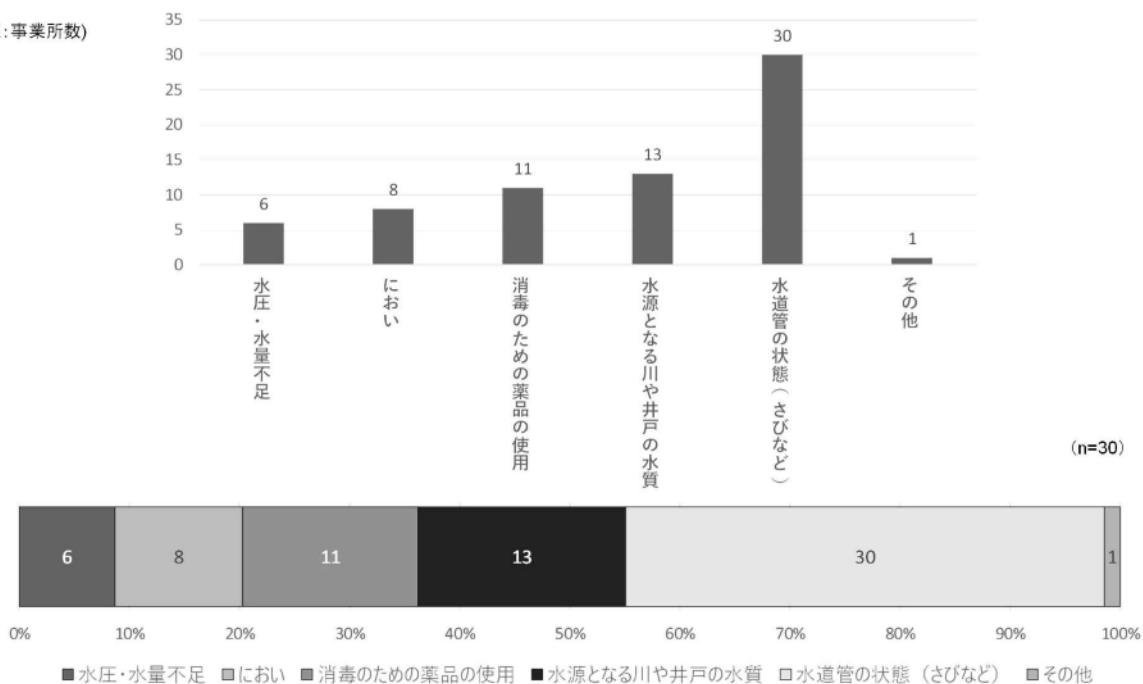
(単位:事業所数)



水道水の「安全性」への感想は「安心している」の回答が多くなっています。次いで「どちらかと言えば安心している」、「どちらとも言えない」の順に回答が多くなっています。

Q12_水道水に不安を感じる理由(複数回答可)

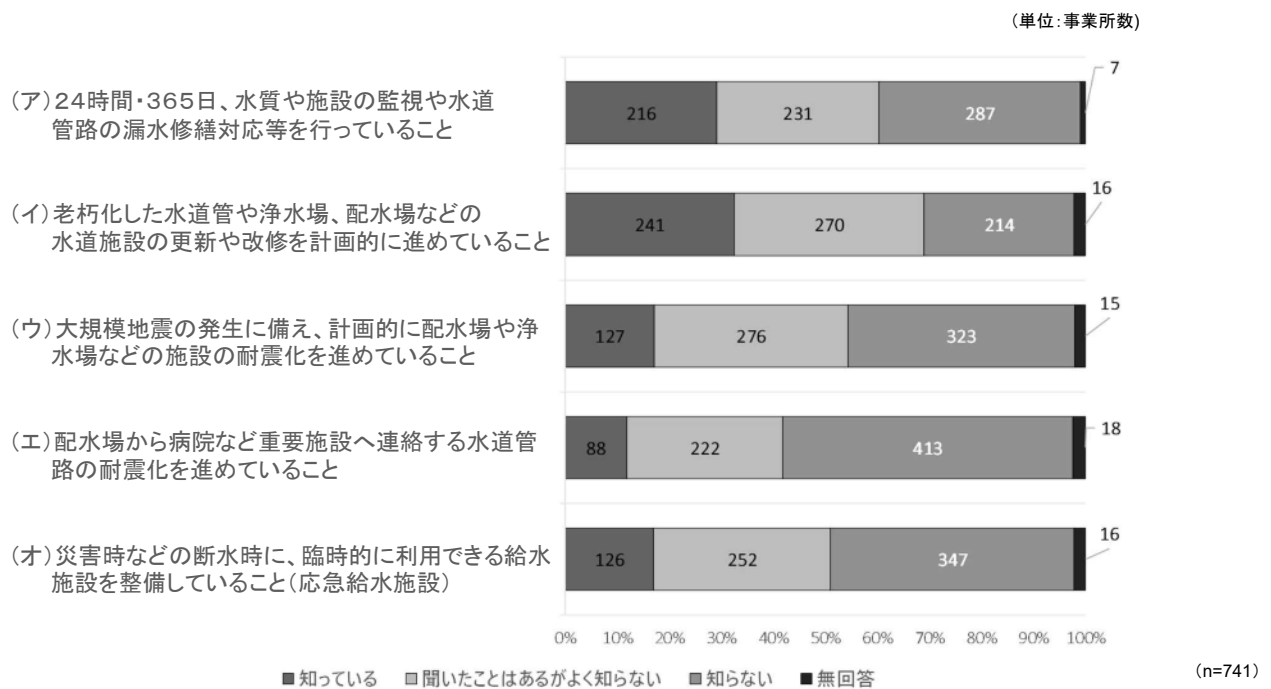
(単位:事業所数)



※問11で「不安」、「どちらかと言えば不安」以外を選択した回答者で、問12に回答した回答者が一部見られるため、母集団の数値は一致していません。

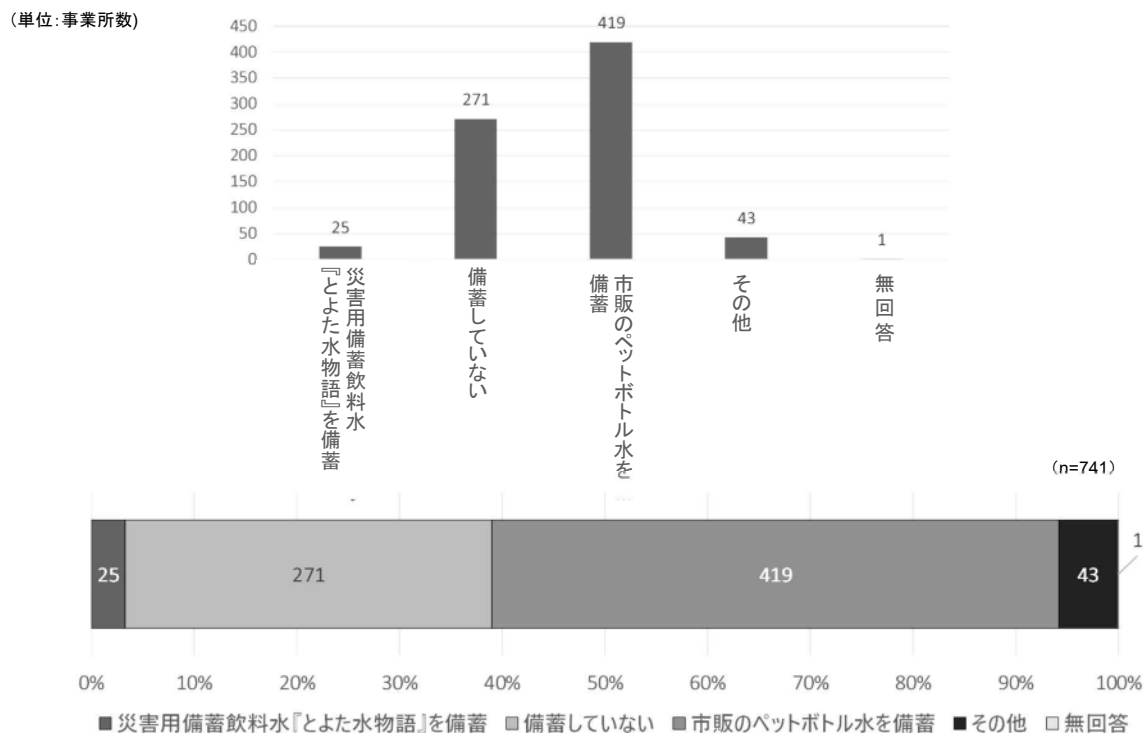
不安を感じる理由は、「水道管の状態」の回答が多くなっています。次いで「水源となる川や井戸の水質」、「消毒のための薬品の使用」の順に回答が多くなっています。

Q13_上下水道局で行っている取組を知っているか



上下水道局の取組については設問ごとに差はあるものの、「知っている」の回答割合は10～35%程度にとどまっています。知っているの割合が最も多いのは(イ)老朽化対策であり、知らないの割合が最も多いのは(エ)耐震化対策です。

Q14_地震等の災害に備えた飲料水の備蓄状況(複数回答可)



災害に備えた備蓄状況は「市販のペットボトル水を備蓄している」の回答が多くなっています。次いで「備蓄していない」、「『とよた水物語』を備蓄している」の順に回答が多くなっています。

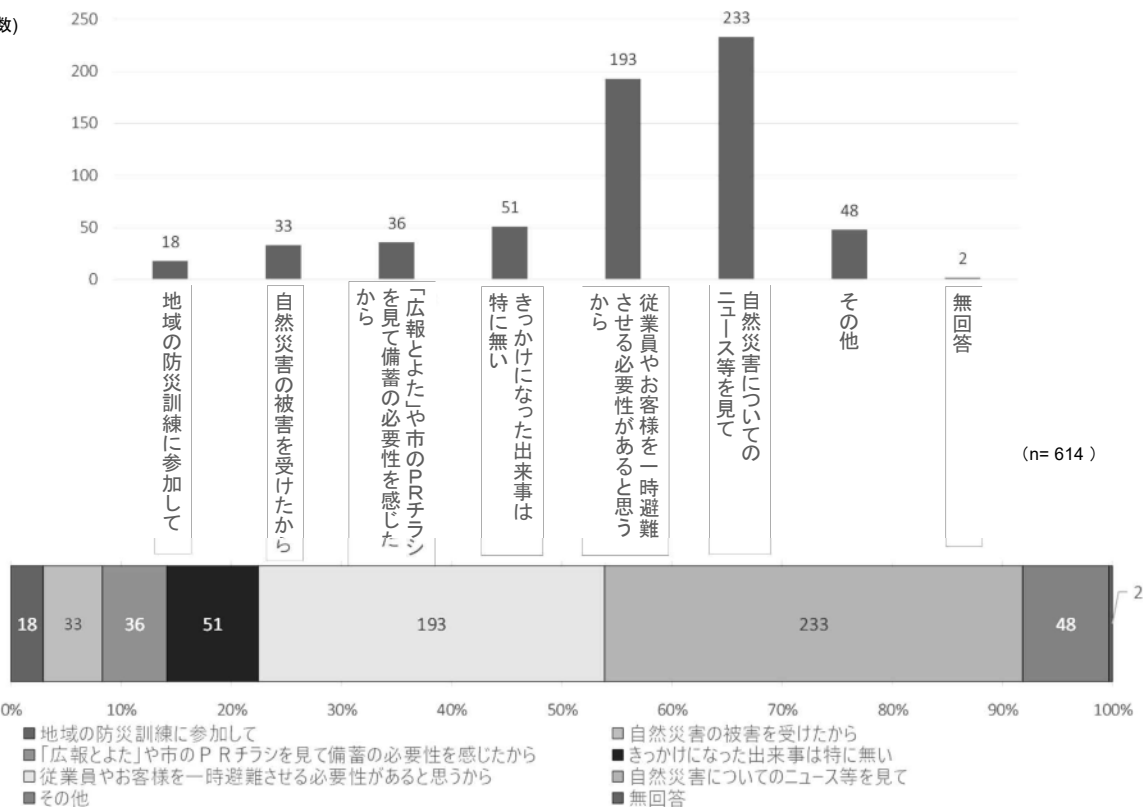
Q14_その他の回答

その他の回答	回答数
ペットボトル等を備蓄している	7
ウォーターサーバー等を設置している	5
受水槽等を備蓄として使用する	2
水道水を備蓄用に取り分けている	2
災害時使用可能な自販機設置	2
本部管理	1
自然水くみしている	1
清涼飲料水(12Lボトルを製造しているので、常に備蓄飲料水がある)	1

その他の回答では、ウォーターサーバーの設置や、災害時使用可能な自販機の設置などが見られます。

Q15_備蓄するようになったきっかけ(複数回答可)

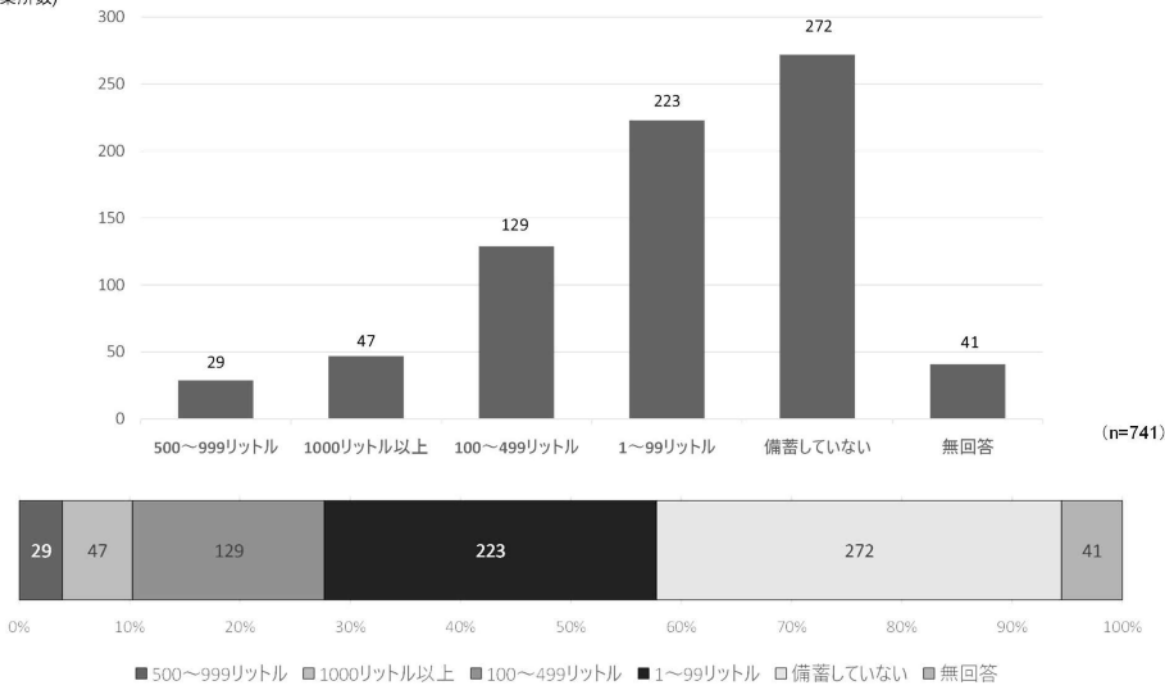
(単位:事業所数)



備蓄するようになったきっかけは「ニュース等を見て」の回答が多くなっています。次いで「一時避難させる必要があると思うから」、「きっかけになった出来事は特にない」の順に回答が多くなっています。

Q16_飲料水の備蓄量(単位:ℓ)

(単位:事業所数)

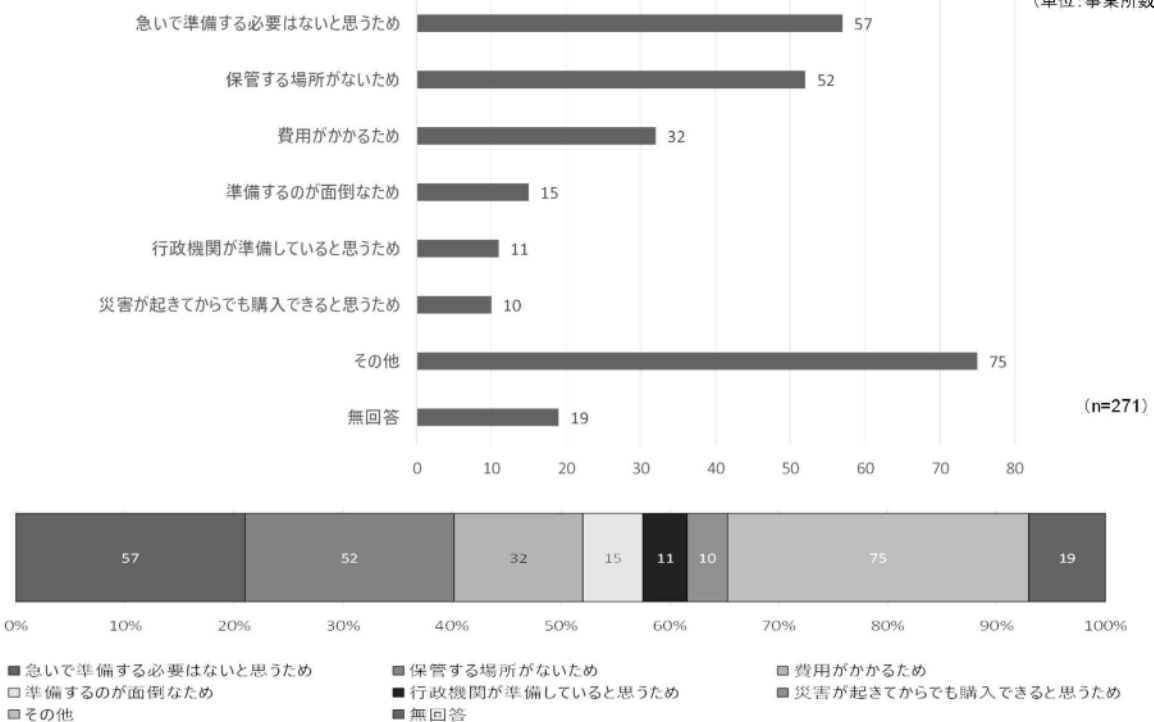


※問14、問16及び問17では「備蓄していない」、「備蓄している」の回答内容が異なる回答者が一部見られるため、「備蓄していない」の数値は一致していません。

飲料水の備蓄量は無回答を除き、「備蓄していない」の回答が多くなっています。次いで「1~99リットル」、「100~499リットル」の順に回答が多くなっています。災害等の有事に対する姿勢について、事業所ごとに大きく差が生じていることが分かります。

Q17_備蓄していない理由

(単位:事業所数)



※問14、問16及び問17では「備蓄していない」、「備蓄している」の回答内容が異なる回答者が一部見られるため、「備蓄していない」の数値は一致していません。

備蓄していない理由は「急いで準備する必要はないと思う」の回答が多くなっています。次いで「保管する場所が無い」、「費用がかかる」の順に回答が多くなっています。

その他の回答	回答数
備蓄のお願いをしていることを知らなかったため	1
全員帰宅が原則であるため	1
自宅ではないため	1
意識はしていたが、必要量も多く準備にまで至らなかった	1
そこまで考えていなかった	1
12リットルの水を常時3本程度している	1

その他の回答では、非常時には事業所にとどまらず、従業員を自宅に帰すことを想定しているため、

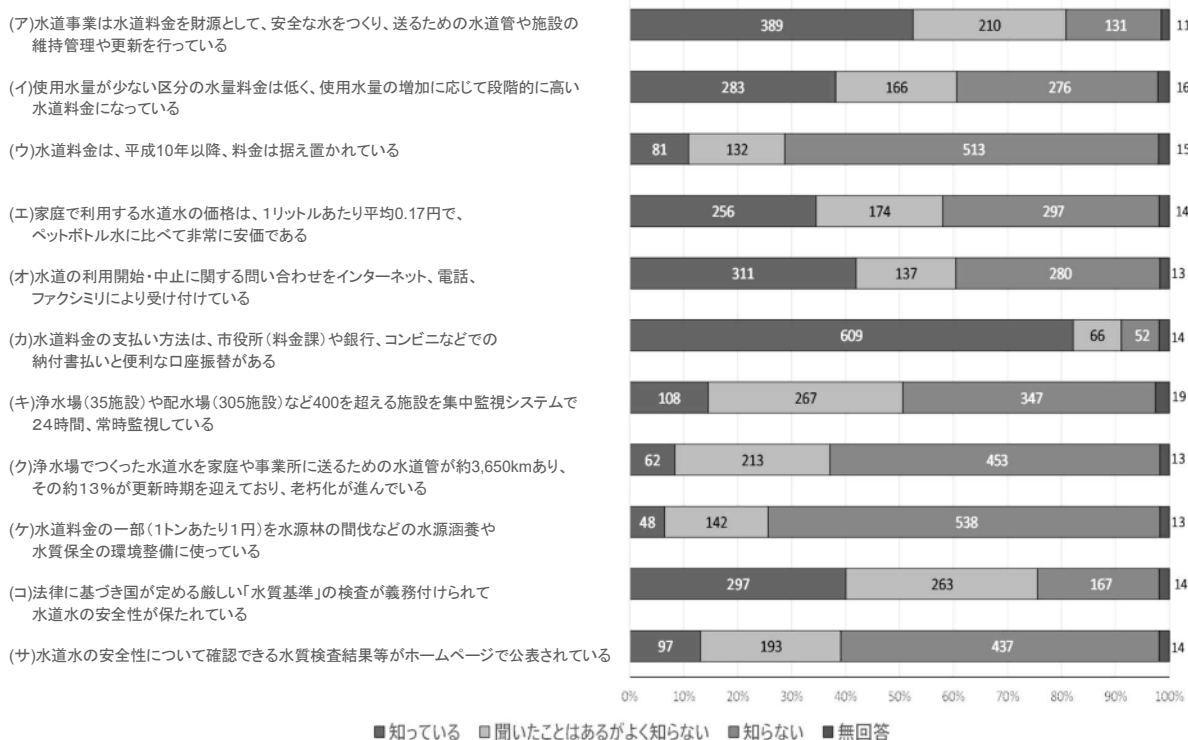
飲料水を備蓄していないという回答が複数見られました。

また、事業所での飲料水備蓄について思い至らなかったや、実際に準備する行動に至らなかったという回答が複数見られました。

4 水道事業について

Q18_上下水道局の行っている事業についてどの程度知っているか

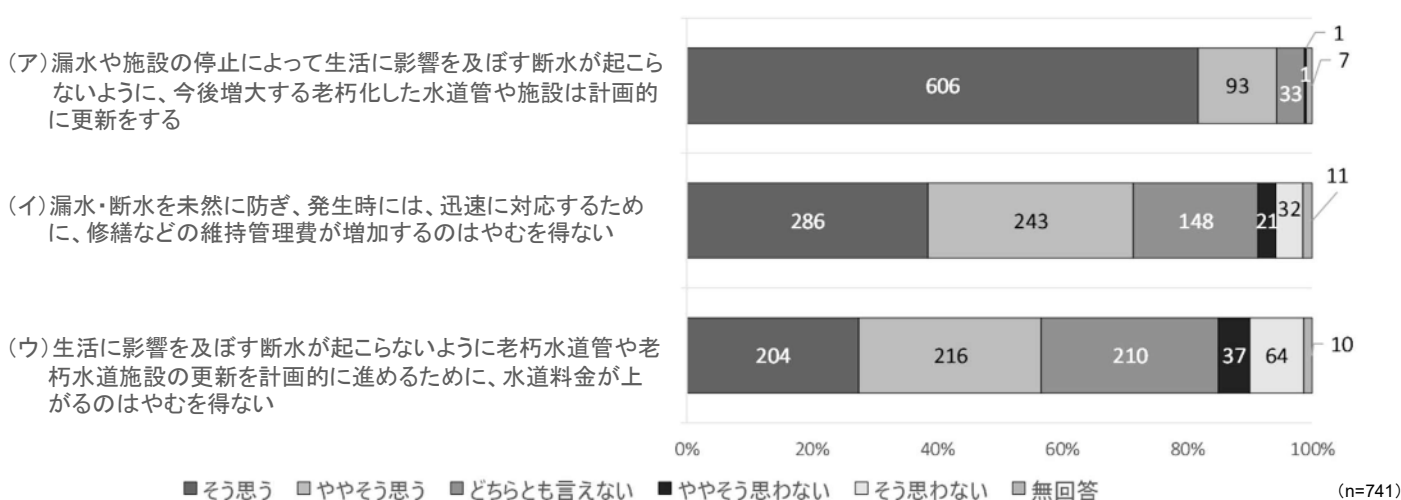
(単位:事業所数)



市の事業について、(カ)水道料金の支払い方法はほとんどが知っていると回答しているほか、安全に関する取組も相対的に認知度が高くなっています。一方で、(ウ)水道料金の据置きなど認知度が10~20%程度しかない事業も複数あります。

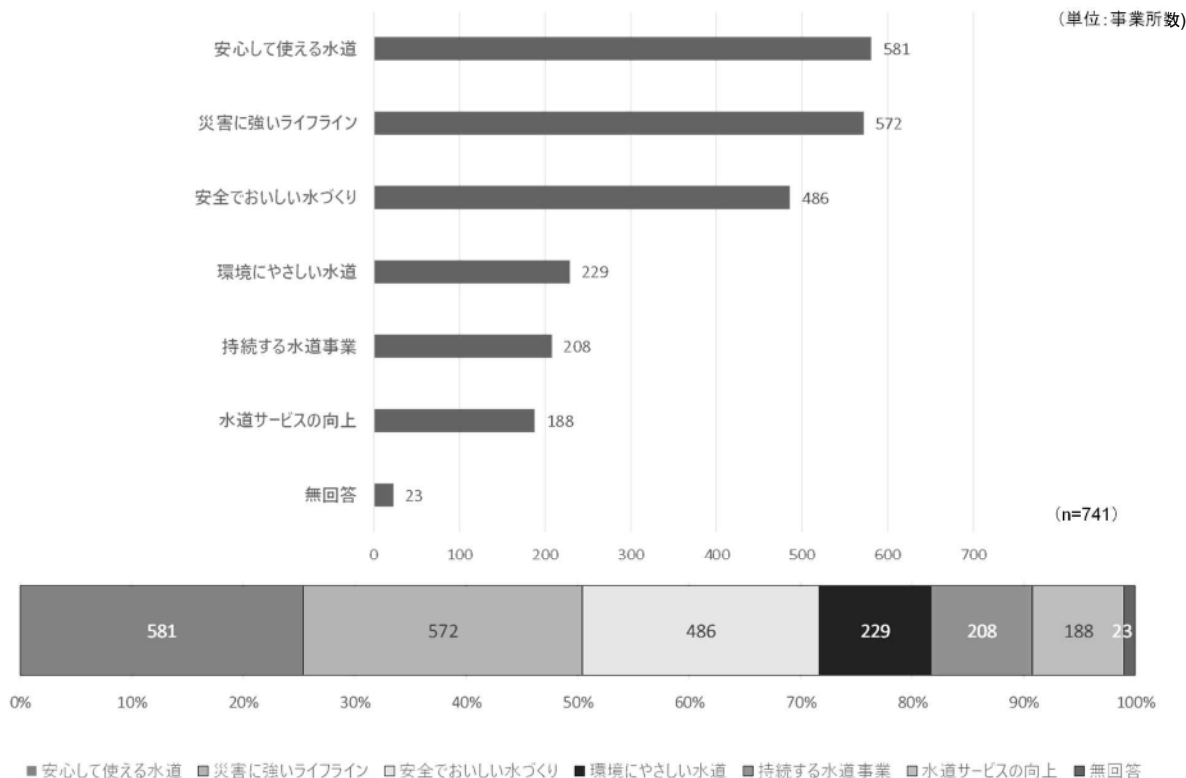
Q19_水道の施設・管路の更新・修繕について

(単位:事業所数)



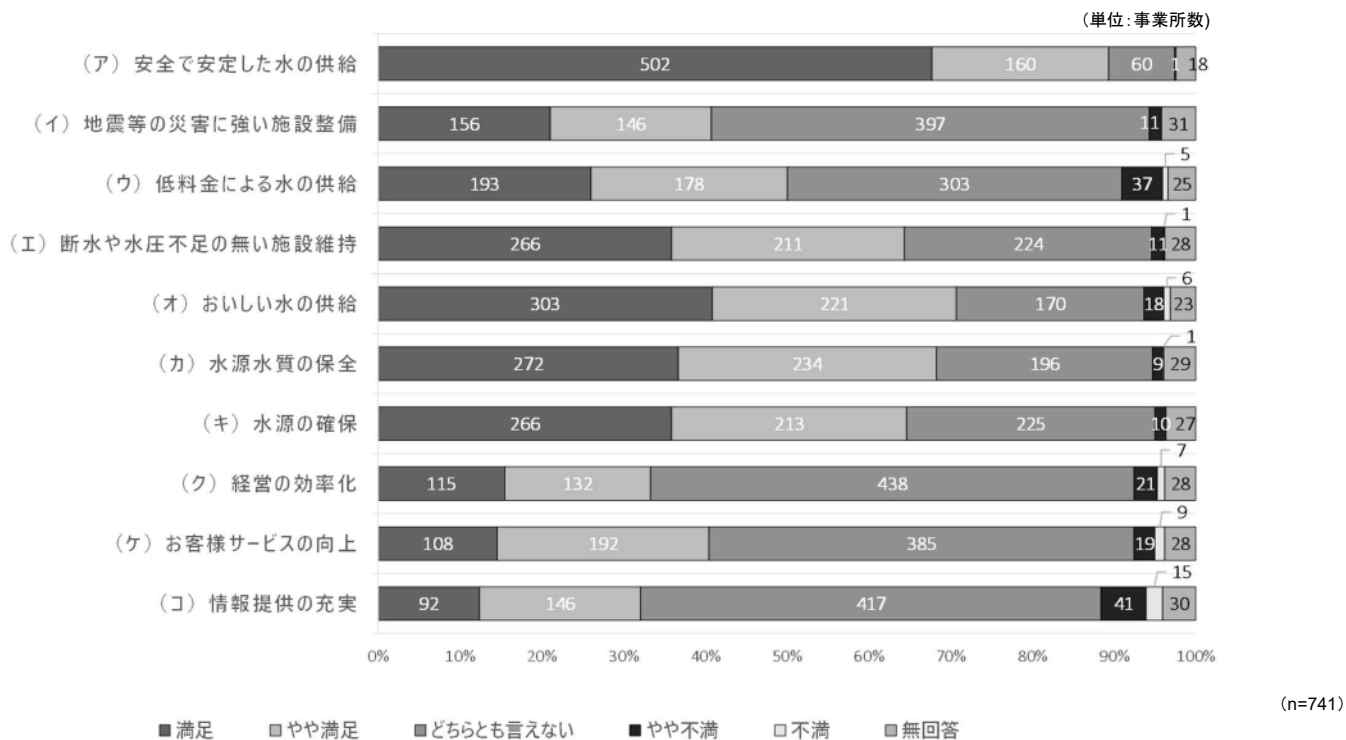
水道の施設・管路の更新・修繕については、ほとんどが更新の必要性を感じる旨を回答しており、そのために水道料金が上がるのはやむを得ないと回答した割合も全体の60%程度となっています。

Q20_水道事業に対して、重要だと思うこと(複数回答可)



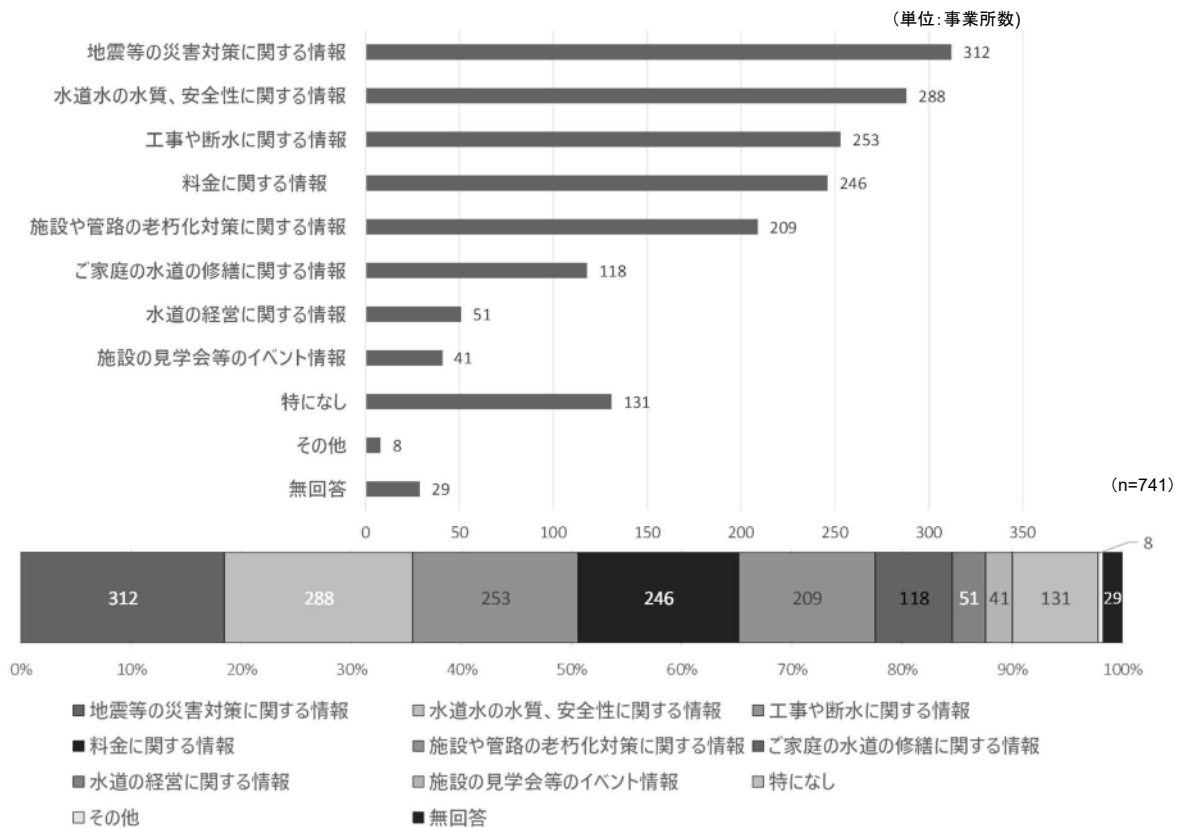
水道事業に対して重要だと思うことは「安心して使える水道」の回答が多くなっています。次いで「災害に強いライフライン」、「安全でおいしい水づくり」の順に回答が多くなっています。

Q21_水道事業について現状の満足度



水道事業についての現状の満足度は「安全で安定した水の供給」の満足の回答が多くなっています。次いで「おいしい水の供給」、「水源水質の保全」の順に満足の回答が多くなっています。

Q22_水道事業について知りたい情報・興味がある情報(複数回答可)



知りたい・興味がある情報は「地震等の災害対策」の回答が多くなっています。
次いで「水道水の水質、安全性」、「工事や断水」の順に回答が多くなっています。

【参考資料】アンケート調査票

「水道の使用に関するアンケート調査」ご協力のお願い

※調査表の送付先、使用者名等は令和3年3月末時点の登録情報を基に作成しています。
※調査表の回答部署が違う場合は、お手数ですが担当部署へ渡していただくようお願いします。

平素は、豊田市水道事業にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

本市上下水道局では、今後、人口減少社会を迎えることや節水をはじめ、水道水の使用状況などが変化していることも踏まえて、将来にわたって安定して、安全で安心な水道水を市民の皆さまに提供できる水道事業経営のあり方を検討しています。

つきましては、「水道の使用に関するアンケート調査」により、貴事業所における水道水の使用状況などを把握させていただき、今後の水道事業経営の参考とさせていただきたいと考えております。

なお、水道を利用されている1,800事業所を無作為に選ばせていただき、調査票を送らせていただきました。

お忙しい中、誠に恐れ入りますが本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和3年7月

豊田市上下水道局

ご記入にあたってのお願い

- ・令和3年7月1日時点を基準に、ご回答ください。
- ・各設問については、法人単位でなく営業所単位でお答えください。
- ・ご回答は、庶務ご担当者様など、水道の使用状況をおわかりになる方がご記入ください。
- ・回答は、選択肢の中から当てはまる番号を選び、○で囲んでください。「その他」に当てはまる場合は、()内に内容を簡単にご記入ください。また、一部数値を記入する欄がありますので、ご注意ください。
- ・回答は秘密を厳守のうえ、調査の目的以外に使用することはありませんのでご安心ください。
- ・広報とよた7月号にて水道事業の紹介をしています。別添の事業紹介とあわせてご覧ください。
- ・ご回答いただいたアンケートは同封の返信用封筒に入れ、

令和3年7月30日（金）までにポストにご投函ください。

※こちらのQRコードおよびURLから回答することも可能です。



URL : (<https://forms.office.com/r/NTNKCKcVjr>)

【問い合わせ先】

豊田市上下水道局 経営管理課 水道経営担当

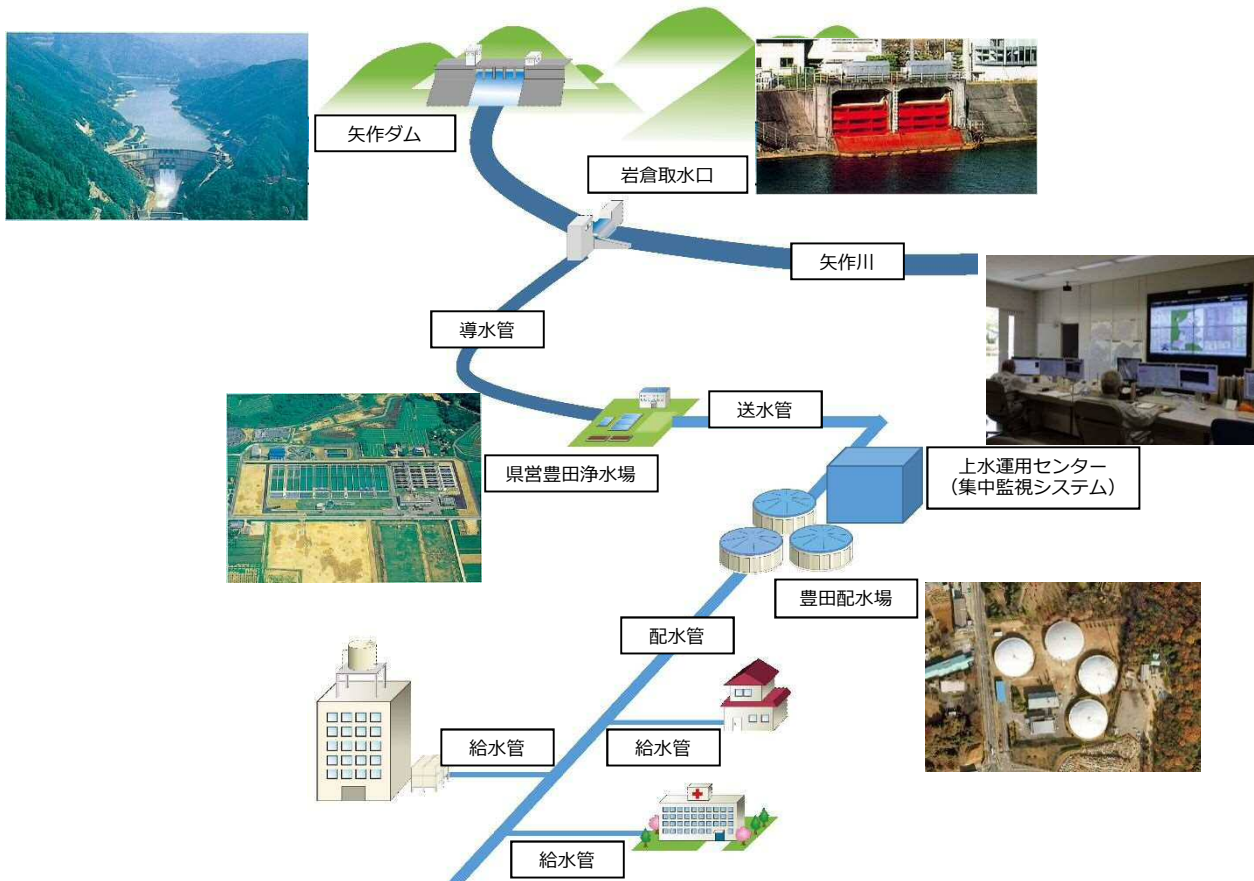
住所：豊田市西町3丁目60番地 豊田市役所 西庁舎3階

電話：0565-34-6623 Eメール：keieikanri@city.toyota.aichi.jp

問合せ時間：平日 午前9時00分～午後5時00分

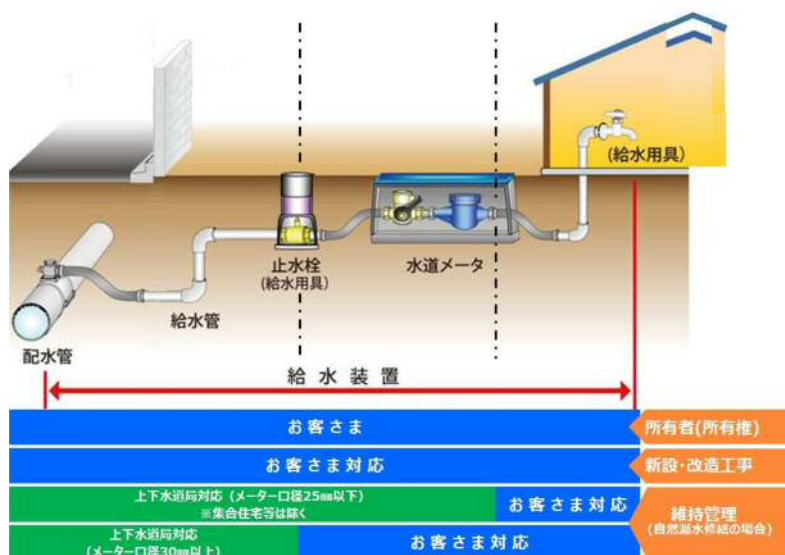
豊田市の水道（水源から事業所に届くまで）

豊田市の水道水は、矢作ダムの水 80%、地下水 15%、川の表流水 5%を水源に、浄水場できれいなおいしい水をつくり、配水場に一旦貯められた水を配水管を通して各家庭や事業所へ届けられています。



道路に埋設されている配水管は上下水道局で管理しています。また、道路に埋設されている配水管からお客様のご自宅や事業所の蛇口までの給水管はお客様の財産です。維持・管理はお客様になります。

ただし、配水管からメーターまでの間で**自然に漏水した場合**について、簡易に修繕可能なときは、お客様に代わって上下水道局で修繕を行います。



水道の使用に関するアンケート調査

以下の設問に対し、該当する番号に○をお願いします。

1 貴事務所のことについてお伺いします

問1 貴事業所が所在する地区を教えてください。(どれか1つに○)

- | | | | | |
|---------|----------|---------|---------|----------|
| 1. 拳母地区 | 2. 高橋地区 | 3. 上郷地区 | 4. 高岡地区 | 5. 猿投地区 |
| 6. 松平地区 | 7. 藤岡地区 | 8. 小原地区 | 9. 足助地区 | 10. 下山地区 |
| 11. 旭地区 | 12. 稲武地区 | | | |

問2 貴事業所の主たる業種を教えてください。(どれか1つに○)

- | | | | | |
|------------|----------|----------|--------|-----------|
| 1. 建設業 | 2. 製造業 | 3. 情報通信業 | 4. 運輸業 | 5. 卸売・小売業 |
| 6. 飲食店、宿泊業 | 7. 医療、福祉 | 8. サービス業 | | |
| 9. その他 () | | | | |

問3 貴事業所の従業員数を教えてください。(どれか1つに○)

- | | | | |
|-------------|-----------|-----------|------------|
| 1. 4人以下 | 2. 5～9人 | 3. 10～50人 | 4. 51～100人 |
| 5. 101～300人 | 6. 301人以上 | | |

問4 貴事業所の延べ床面積を教えてください。(どれか1つに○)

- | | | |
|-----------------|-----------------|---------------|
| 1. 100㎡以下 | 2. 101～500㎡ | 3. 501～1,000㎡ |
| 4. 1,001～2,000㎡ | 5. 2,001～5,000㎡ | 6. 5,000㎡以上 |

2 水道水の使用状況について

問5 水道等の使用状況を教えてください。

(各項目について1つに○、使用割合は合計が100%になるように記載)

水道水	地下水・井戸水	工業用水	その他(再利用水等)
1. 使用している	1. 使用している	1. 使用している	1. 使用している
2. 不使用(日常的に使用していない)	2. 整備されているが、不使用	2. 整備されているが、不使用	2. 整備されているが、不使用
	3. 整備されていない	3. 整備されていない	3. 整備されていない
使用割合 () %	使用割合 () %	使用割合 () %	使用割合 () %



以下の設問については、上記「水道水」に関連する部分のみをお答えください。(地下水・井戸水・工業用水等は含みません。)

問6 水道料金は使用水量を2か月に1度、水道メーター(量水器)を検針して、2か月分まとめて請求していますが、検針時に発行している「使用水量のお知らせ」(※1)を確認していますか。(どれか1つに○)

1. 確認する 2. 時々確認する 3. ほとんど確認しない 4. 全く確認しない

※1 水道水の使用水量と請求予定額のお知らせです。

問7 直近2か月の水道使用水量について教えてください。(どれか1つに○)

1. 16 m³以下 2. 17~20 m³ 3. 21~40 m³ 4. 41~60 m³
 5. 61~100 m³ 6. 101~200 m³ 7. 201~600 m³ 8. 601~2,000 m³
 9. 2,001 m³以上 10. 不使用 11. 知らない

問8 普段、節水を心掛けているか教えてください。(どれか1つに○)

1. 心掛けている 2. やや心掛けている
 3. あまり心掛けていない 4. 特に心掛けていない

(⇒ 「3」~「4」を選択された方は問11へ)

問 9 **問 8 で「1」、「2」を選択された方にお聞きします。**

具体的な節水方法について教えてください。(複数回答可)

1. 節水型設備の導入 (業務用の機械など)
2. 節水型設備の導入 (節水型トイレなど、業務用以外のもの)
3. 水の再利用・循環利用
4. 水道水以外の水 (地下水・雨水等) への転換
5. 使用量の管理
6. 従業員への啓発
7. その他 ()
8. 導入していない

(⇒ 「5」～「8」を選択された方は問 11 へ)

問 10 **問 9 で「1」～「4」を選択された方にお聞きします。**

過去 10 年間で、節水型設備の導入などに取り組まれた時期を教えてください。

- | | | |
|---------------------------------|-------|---|
| 1. 節水型設備の導入 (業務用の機械など) | _____ | 年 |
| 2. 節水型設備の導入 (節水型トイレなど、業務用以外のもの) | _____ | 年 |
| 3. 水の再利用・循環利用 | _____ | 年 |
| 4. 水道水以外の水 (地下水・雨水等) への転換 | _____ | 年 |

3 水道水の安全性、備蓄状況について

問 11 安全で良質な水を皆さまの蛇口までお届けするために、24 時間送水状況を監視、毎日の水質検査、古くなった水道管の取替など、様々な取組を行っています。豊田市の水道水の「安全性」についての感想を教えてください。(どれか 1 つに〇)

- | | |
|--------------|---------------------|
| 1. 安心している | 2. どちらかと言えば安心している |
| 3. どちらとも言えない | 4. どちらかと言えば不安を感じている |
| 5. 不安を感じている | 6. 分からない |

(⇒ 「1」～「3」、「6」を選択された方は問 13 へ)

問 12 **問 11 で「4」、「5」を選択された方にお聞きします。**

水道水に不安を感じる理由を教えてください。(複数回答可)

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1. 水道管の状態 (さびなど) | 2. 水源となる川や井戸の水質 |
| 3. 消毒のための薬品の使用 | 4. 水圧・水量不足 |
| 5. におい | |
| 6. その他 () | |

問 13 皆さまに安心して水道を使用していただくため、上下水道局では以下の取組を行っていますが知っていますか。(各項目についてどれか1つに○)

質問項目	1 知っている	2 聞いたことはある がよく知らない	3 知らない
選択肢 (ア) 24時間・365日、水質や施設の監視や水道管路の漏水修繕対応等を行っていること			
(イ) 老朽化した水道管や浄水場、配水場などの水道施設の更新や改修を計画的に進めていること			
(ウ) 大規模地震の発生に備え、計画的に配水場や浄水場などの施設の耐震化を進めていること			
(エ) 配水場から病院など重要施設につながる水道管路の耐震化を進めていること			
(オ) 災害時などの断水時に、臨時的に利用できる給水施設を整備していること (応急給水施設)			



漏水修繕の様子



応急給水施設

問 14 地震等の災害に備えた飲料水の備蓄状況【※受水槽は含めない】について教えてください。(複数回答可)

<p>1. 市販のペットボトル水を備蓄している</p> <p>2. 豊田市上下水道局が販売する災害用備蓄飲料水『とよた水物語』を備蓄している</p> <p>3. その他の方法 (備蓄方法: _____)</p> <p>4. 備蓄していない</p>

(⇒ 「4」を選択された方は問 17 へ)

問 15 問 14 で「1」～「3」を選択された事業所の方にお聞きします。備蓄するようになったきっかけは何ですか。(複数回答可)

1. 地震や台風などの自然災害の被害を受けたから
2. 地震や台風などの自然災害についてのニュース等を見て
3. 「広報とよた」や市のPRチラシを見て備蓄の必要性を感じたから
4. 従業員やお客様を一時避難させる(帰宅困難者対応など) 必要性があると思うから
5. 地域の防災訓練に参加して
6. きっかけになった出来事は特にない
7. その他 ()

問 16 飲料水の備蓄量はどれくらいの量ですか。数値を記入してください。

_____ リットル

問 17 問 14 で「4. 備蓄していない」とお答えになった方にお聞きします。備蓄していない理由を教えてください。(どれか1つに○)

1. 保管する場所がないため
2. 費用がかかるため
3. 急いで準備する必要はないと思うため
4. 準備するのが面倒なため
5. 災害が起きてからでも購入できると思うため
6. 行政機関が準備していると思うため
7. その他 ()



上下水道局では、災害時に備え、1人あたり9リットル(1人1日3リットルを3日分)以上の飲料水の備蓄をお願いしています。

4 水道事業について

問 18 上下水道局の行っている事業について、どの程度知っていますか。(各項目についてどれか1つに○)

質問項目		選択肢		
		1 知っている	2 聞いたことはある がよく知らない	3 知らない
水道料金	(ア)水道事業は水道料金を財源として、安全な水をつくり、送るための水道管や施設の維持管理や更新を行っている			
	(イ)使用水量が少ない区分の水量料金は低く、使用水量の増加に応じて段階的に高い水道料金になっている			
	(ウ)水道料金は、平成 10 年以降、料金は据え置かれている			
	(エ)家庭で利用する水道水の価格は、1リットルあたり平均 0.17 円で、ペットボトル水に比べて非常に安価である			
サービス	(オ)水道の利用開始・中止に関する問い合わせをインターネット、電話、ファクシミリにより受け付けている			
	(カ)水道料金の支払い方法は、市役所（料金課）や銀行、コンビニなどでの納付書払いと便利な口座振替がある			
水が家庭に届くまで	(キ)浄水場（35 施設）や配水場（305 施設）など 400 を超える施設を集中監視システムで 24 時間、常時監視している			
	(ク)浄水場でつくった水道水を家庭や事業所に送るための水道管が約 3,650km あり、その約 13% が更新時期を迎えており、老朽化が進んでいる	 <p>●豊田市の水道管の長さ 3,650km</p>		
	(ケ)水道料金の一部（1トンあたり1円）を水源林の間伐などの水源涵養や水質保全の環境整備に使っている			
	(コ)法律に基づき国が定める厳しい「水質基準」の検査が義務付けられて水道水の安全性が保たれている			
	(サ)水道水の安全性について確認できる水質検査結果等がホームページで公表されている			

問 19 豊田市の水を送るためのポンプや電気設備などの施設や水道管は、老朽化が進んでいます。令和2年度は、水道管の老朽化を原因とする漏水などが 1,018 件発生しました。

こうした事故を未然に防ぎ、市民の皆さまに安心して水を使用していただくため、施設や管路を更新していますが、年々老朽化した施設等は増大するため更新にはこれまで以上に費用がかかることとなります。

水道の施設・管路の更新・修繕について、あなたの考えをお聞きます。(各項目についてどれか1つに○)

質問項目	1 そう思う	2 ややそう思う	3 どちらとも言えない	4 ややそう思わない	5 そう思わない
(ア) 漏水や施設の停止によって <u>生活に影響を及ぼす断水が起こらないように</u> 、今後増大する <u>老朽化した水道管や施設</u> は計画的に更新をする					
(イ) 漏水・断水を未然に防ぎ、発生時には、迅速に対応するために、修繕などの維持管理費が <u>増加するのはやむを得ない</u>					
(ウ) <u>生活に影響を及ぼす断水が起こらないように</u> 老朽水道管や老朽水道施設の更新を計画的に進めるために、 <u>水道料金が上がるのはやむを得ない</u>					



他市では老朽化が原因で
水道管が破裂して
何日も断水したんだって



水道管の破裂

問 20 水道事業に対して、重要だと思ふことはどれですか。(複数回答可)

1. 安全でおいしい水づくり
(良好な水源の確保、水質監視体制の強化、水道水の安全性のPR など)
2. 安心して使える水道
(水道施設の監視強化、貯水槽の適正管理の推進、直圧給水の推進※2 など)
3. 災害に強いライフライン
(水道施設の耐震化、災害時の応急給水施設の充実、老朽化対策の推進など)
4. 環境にやさしい水道
(漏水防止対策の強化、リサイクル製品の使用促進、再生可能エネルギーの活用など)
5. 水道サービスの向上
(料金支払い方法の多様化、効果的な情報発信、共働による水源環境の保全活動など)
6. 持続する水道事業
(近隣自治体との連携、技術継承のためのマニュアルの整備、水道経営の安定化など)

※2 配水管の水圧で直接給水する方式で、豊田市では3階以下のマンション、アパートは貯水槽を設けずに直接給水する方式を推奨しています。

問 21 水道事業について、現状の満足度をお答えください。(各項目についてどれか1つに○)

質問項目 選択肢	1 満足	2 やや満足	3 どちらとも言えない	4 やや不満	5 不満
(ア) 安全で安定した水の供給					
(イ) 地震等の災害に強い施設整備					
(ウ) 低料金による水の供給					
(エ) 断水や水圧不足の無い施設維持					
(オ) おいしい水の供給					
(カ) 水源水質の保全					
(キ) 水源の確保					
(ク) 経営の効率化					
(ケ) お客様サービスの向上					
(コ) 情報提供の充実					

その他

問 22 水道事業について、あなたが知りたい情報・興味がある情報はありますか。(複数回答可)

1. 水道水の水質、安全性に関する情報
2. 料金に関する情報
3. ご家庭の水道の修繕に関する情報
4. 工事や断水に関する情報
5. 地震等の災害対策に関する情報
6. 施設や管路の老朽化対策に関する情報
7. 施設の見学会等のイベント情報
8. 水道の経営に関する情報
9. その他 ()
10. 特になし

問 23 水道に関するご意見や期待するサービスなどがありましたらお聞かせください。

アンケート調査にご協力いただきありがとうございました。
いただいたご意見について、個別に回答はいたしませんので、ご了承ください。
令和3年7月30日(金)までに同封の返信用封筒にてポストにご投函ください。



豊田市水道キャラクター
「ぴっちゃん」

水道の使用に関するアンケート調査報告書(事業所向け)
<令和4年3月>

発行 豊田市 上下水道局 経営管理課
〒471-8501 愛知県豊田市西町3丁目60番地
電話番号 0565 - 31 - 1212(代表)
0565 - 34 - 6623(直通)
FAX番号 0565 - 36 - 5529
E-mail keieikanri@city.toyota.aichi.jp